2016年度の産学連携プログラムの実施状況

Industry-University Consortium on Logistics

流通経済大学流通情報学部では、2010年度からロジスティクス産学連携プログラムを正式に立ち上げました。今年度が7年目であり、プログラムが確実に定着してきました。プログラムの講師は、ロジスティクス関連の業界団体、物流業、運輸業、メーカー、卸売業、小売業、コンサルタントなど、企業を中心とした幅広い人材で構成されております。

ロジスティクス産学連携プログラムとして、「ロジスティクス実践講座」、「物流マネジメント実践講座」、「国際物流実践講座」、「情報システム実践講座」、「ダイレクトマーケティング実践講座」、「ロジスティクス企業訪問講座」、「ロジスティクス改善演習」の7科目、さらに関連する寄付講座として、「日本通運寄付講座」、「全国通運連盟寄付講座」の2科目があります。2016年度の実施状況の概要をご報告させていただきます。なお、「日本通運寄付講座」は、秋学期に龍ヶ崎キャンパス、新松戸キャンパスの両キャンパスで開講し、全15回、日本通運(株)の山根泉氏に講義をしていただきました。

①「ロジスティクス実践講座」の2016年度の実施状況

「ロジスティクス実践講座」は、荷主企業等を中心にロジスティクス実務者を招き、各企業のロジスティクスシステムの現状を学び、ロジスティクスの考え方を現場から考え

ていくことを目標としています。また、環境問題、災害時対応、さらにドライバー不足問題といった新たな問題についても学びます。ロジスティクス実践講座Ⅰが春学期、ロジスティクス実践講座Ⅱが秋学期に、龍ヶ崎、新松戸の両キャンパスで開講しました。各回のテーマ、講師は表1、表2のとおりです。龍ヶ崎の受講生数は春学期46人、秋学期42人でした。新松戸の受講生数は春学期64人、秋学期52人でした。

②「物流マネジメント実践講座」の2016年度の実施状況

「物流マネジメント実践講座」は、トラック、鉄道、3PL等の物流事業者及び有識者を招き、ロジスティクス管理に関する現状を学ぶことを目標としています。また、企業の物流戦略や多様な物流サービスの事例といった最新の動きについても学びます。半期科目であり、春学期は新松戸キャンパスで、秋学期は龍ヶ崎キャンパスで開講しました。各回のテーマ、講師は表3、表4のとおりです。新松戸の受講生数は62人、龍ヶ崎の受講生数は12人でした。

③「国際物流実践講座」の2016年度の実施状況

「国際物流実践講座」は、国際物流に携わる経営者、実務経験者を講師として招聘し、国際物流における最新動向、事例により、国

表1 「ロジスティクス実践講座－春学期、龍ヶ崎」の2016年度の実施結果

回	テーマ	講師
1	ガイダンスとロジスティクスの基礎知識	流通経済大学 矢野裕児
2	ロジスティクス概論	元 公益社団法人 日本ロジスティクスシステム協会 石井徹郎氏
3	企業のロジスティクス戦略の変遷-1	元 (株)日通総合研究所 廣瀬吉英氏
4	企業のロジスティクス戦略の変遷-2	元 (株)日通総合研究所 廣瀬吉英氏
5	日本企業におけるロジスティクスの現状	ロジスティクス経営士 楠堂昌純氏
6	ロジスティクスと包装	公益社団法人 日本包装技術協会包装技術研究所 金子武弘氏
7	ロジスティクスと環境・資源	みずほ情報総研(株) 秋山浩之氏
8	ロジスティクスの最新動向	山田経営コンサルティング 山田健氏
9	物流改善のポイントは-1	紙中コンサルティング 紙中英伸氏
10	物流改善のポイントは-2	紙中コンサルティング 紙中英伸氏
11	トラック輸送の実態とドライバー不足問題について	(株)日通総合研究所 大島弘明氏
12	まとめ	流通経済大学 矢野裕児
13	ロジスティクスと環境-1	(株)ロジスティクス革新パートナーズ 菅田勝氏
14	ロジスティクスと環境-2	(株)ロジスティクス革新パートナーズ 菅田勝氏
15	ロジスティクス企業に期待されていること	日通情報システム(株) 藤田光樹氏
16	ロジスティクス実践講座ガイダンス	流通経済大学 矢野裕児
17	物流不動産ビジネス	イーソウコ(株) 大谷巖一氏
18	菓子物流のネットワーク価値の拡大	スナックフードサービス(株) 一山幸市氏
19	加工食品コールドチェーンにおける課題とその改善策について	元 明治乳業(株) 櫻井保氏
20	食品物流の課題と今後の動き	ハウス物流サービス(株) 早川哲志氏
21	物流改善の実際	紙中コンサルティング 紙中英伸氏
22	現場改善と人材育成	(株)あんしん 雨宮路男氏
23	中小企業の生き残りをかけた取り組み	十和運送(株) 結束洋氏
24	物流のソリューション・営業とその事例	(株)ロジスティクス・ネットワーク 立川哲二氏
25	首都圏4千万人のゲートウェイ東京港	中央大学特任教授、元東京都港湾局 成田浩氏
26	都市内物流の効率化について	(株)日通総合研究所 大島弘明氏
27	企業物流と物流業界の最近の動向	元 (株)日通総合研究所 長谷川雅行氏
28	味の素・味の素物流のロジスティクス戦略	味の素物流(株) 魚住和宏氏
29	食品卸売業にとっての物流システム	国分(株) 山田英夫氏
30	ロジスティクスファイナンスについて	日通キャピタル(株) 須田聡氏

表2 「ロジスティクス実践講座－春学期、新松戸」の2016年度の実施結果

回	テーマ	講師
1	ガイダンスとロジスティクスの基礎知識	流通経済大学 矢野裕児
2	ロジスティクス概論	元 公益社団法人 日本ロジスティクスシステム協会 石井徹郎氏
3	企業のロジスティクス戦略の変遷-1	元 (株)日通総合研究所 廣瀬吉英氏
4	企業のロジスティクス戦略の変遷-2	元 (株)日通総合研究所 廣瀬吉英氏
5	日本企業におけるロジスティクスの現状	ロジスティクス経営士 楠堂昌純氏
6	ロジスティクスと包装	公益社団法人日本包装技術協会包装技術研究所 金子武弘氏
7	ロジスティクスと環境・資源	みずほ情報総研(株) 秋山浩之氏
8	物流改善のポイントは-1	紙中コンサルティング 紙中英伸氏
9	物流改善のポイントは-2	紙中コンサルティング 紙中英伸氏
10	大学祭休講	大学祭休講
11	ロジスティクスの最新動向	山田経営コンサルティング 山田健氏
12	トラック輸送の実態とドライバー不足問題について	(株)日通総合研究所 大島弘明氏
13	ロジスティクスと環境-1	(株)ロジスティクス革新パートナーズ 菅田勝氏
14	ロジスティクス企業に期待されていること	日通情報システム(株) 藤田光樹氏
15	ロジスティクスと環境-2	(株)ロジスティクス革新パートナーズ 菅田勝氏
16	ロジスティクス実践講座ガイダンス	流通経済大学 矢野裕児
17	菓子物流のネットワーク価値の拡大	スナックフードサービス(株) 一山幸市氏
18	物流のソリューション・営業とその事例	(株)ロジスティクス・ネットワーク 立川哲二氏
19	食品物流の課題と今後の動き	ハウス物流サービス(株) 早川哲志氏
20	物流不動産ビジネス	イーソウコ(株) 大谷巖一氏
21	変化に対応する花王のSCM	花王(株) 山口裕人氏
22	企業物流と物流業界の最近の動向-1	元 (株)日通総合研究所 長谷川雅行氏
23	物流改善の実際	紙中コンサルティング 紙中英伸氏
24	味の素・味の素物流のロジスティクス戦略	味の素物流(株) 魚住和宏氏
25	マーケットプレイスの仕組み	(株)インフォーマット 藤田尚武氏
26	都市内物流の効率化について	(株)日通総合研究所 大島弘明氏
27	中小企業の生き残りをかけた取り組み	十和運送(株) 結束洋氏
28	企業物流と物流業界の最近の動向-2	元 (株)日通総合研究所 長谷川雅行氏
29	食品卸売業にとっての物流システム	国分(株) 山田英夫氏
30	カスミにおけるSCMの特徴と改善の取り組み	(株)カスミ 齋藤雅之氏

ロジスティクス産学連携コンソーシアムの紹介

表3 「物流マネジメント実践講座－春学期、新松戸」の2016年度の実施結果

回	テーマ	講師
1	ガイダンス	流通経済大学 小野秀昭
2	講座受講に必要な知識	流通経済大学 小野秀昭
3	トラック運送産業の概要	(株)運輸・物流研究室 中田愛子氏
4	休講	休講
5	トラック運送業界における安全と環境への対応	一般社団法人東京都トラック協会 井上豪氏
6	重量品輸送(道なき山奥へ風力発電輸送、真夜中の新幹線輸送、海外の巨大プラント建設)	(株)日通総合研究所 福島茂明氏
7	ロジスティクス分野のIT活用事例	(株)野村総合研究所 足立研二氏
8	鉄道貨物輸送の仕組みとJR貨物の取り組み	日本貨物鉄道(株) 和田智秀氏
9	3PLの役割と実例	川崎陸送(株) 樋口恵一氏
10	内航海運の現状	独立行政法人海上技術安全研究所 間島隆博氏
11	宅配便の開発と成長過程	ヤマト運輸(株) 原田力氏
12	物流における倉庫の役割	一般社団法人日本倉庫協会 田代信行氏
13	美術品の輸送のポイント	損保ジャパン日本興亜(株) 後藤泰弘氏
14	市場流通の動向と市場物流の実例	コンサルアグリ 藤井憲雄氏
15	講座の復習とまとめ	流通経済大学 小野秀昭

表4 「物流マネジメント実践講座－秋学期、龍ヶ崎」の2016年度の実施結果

回	テーマ	講師
1	ガイダンス	流通経済大学 小野秀昭
2	講座受講に必要な知識	流通経済大学 小野秀昭
3	トラック運送産業の概要	(株)運輸・物流研究室 中田愛子氏
4	宅配便の開発と成長過程	ヤマト運輸(株) 原田力氏
5	3PLの役割と実例	川崎陸送(株) 樋口恵一氏
6	ロジスティクス分野のIT活用事例	(株)野村総合研究所 足立研二氏
7	トラック運送業界における安全と環境への対応	一般社団法人東京都トラック協会 井上豪氏
8	重量品輸送(道なき山奥へ風力発電輸送、真夜中の新幹線輸送、海外の巨大プラント建設)	(株)日通総合研究所 福島茂明氏
9	物流における倉庫の役割	一般社団法人日本倉庫協会 田代信行氏
10	内航海運の現状	独立行政法人海上技術安全研究所 間島隆博氏
11	市場流通の動向と市場物流の実例	コンサルアグリ 藤井憲雄氏
12	美術品の輸送のポイント	損保ジャパン日本興亜(株) 後藤泰弘氏
13	鉄道貨物輸送の仕組みとJR貨物の取り組み	日本貨物鉄道(株) 和田智秀氏
14	講座の復習とまとめ TVドキュメント(物流テーマ)について討論	流通経済大学 小野秀昭
15	講座の復習とまとめ	流通経済大学 小野秀昭

表5 「国際物流実践講座－春学期、新松戸」の2016年度の実施結果

回	テーマ	講師
1	ガイダンス	流通経済大学 林克彦
2	国際物流サービス	流通経済大学 林克彦
3	船会社の国際物流戦略	オーシャントランス(株) 辰巳順氏
4	ロシアの最新物流事情	公益財団法人 環日本海経済研究所 辻久子氏
5	インテグレータの国際物流戦略航空	FedEx 山口邦男氏
6	航空フォワーダーの国際物流戦略	日本通運(株)航空事業部 福富亮次氏
7	海上貨物フォワーダーの国際物流戦略	日本通運(株)海運事業部 織田博文氏
8	航空会社の国際物流戦略	(株)ANA Cargo 谷村昌樹氏
9	物流企業の海外展開(中国)	日本通運(株) 小野文吾氏
10	中間まとめ	流通経済大学 林克彦
11	商社の国際物流管理	住友商事(株) 河野達也氏
12	ASEANの最新物流事情	(株)日通総合研究所 細山田優氏
13	欧州の最新物流事情	流通経済大学 林克彦
14	米国の最新物流事情	(株)日通総合研究所 田阪幹雄氏
15	まとめ	流通経済大学 林克彦

際物流の現状と課題を把握するとともに今後の展望を学修することを目標としています。春学期に半期科目として、新松戸キャンパスで開講しました。各回のテーマ、講師は表5

のとおりです。受講生数は40人でした。

④「情報システム実践講座」の2016年度の実施状況

「情報システム実践講座」は、物流分野な

表6 「情報システム実践講座－春学期、新松戸」の2016年度の実施結果

回	テーマ	講師
1	ガイダンス	流通経済大学 増田悦夫
2	ロジスティクスにおける戦略立案のIT活用	(株)日本ビジネスクリエイト 後藤一孝氏
3	物流情報標準化の概要	オフィス・ロン 吉本隆一氏
4	SCMに於ける情報セキュリティの課題	飛天ジャパン(株) 傘義冬氏
5	ロジスティクスと情報システム	(株)フレームワークス/モノプラス(株)/(株)SCSホールディングス 秋葉淳一氏
6	パレットにおけるRFIDの利活用	日本パレットレンタル(株) 永井浩一氏
7	ITを活用した作業分析	(株)日本ビジネスクリエイト 後藤一孝氏
8	Webシステム開発の現状と今後	ヒューマネテック(株) 田中裕樹氏
9	情報システム構築におけるプロジェクトマネジメントの実践	ヒューマネテック(株) 吉山洋一氏
10	物流作業におけるスマートデバイス物流情報機器導入について	日立物流ソフトウェア(株) 小林道明氏
11	TMSの役割と活用	光英システム(株) 池田勝彦氏
12	「本人認証学」入門	(株)きさいや 宇都宮康夫氏
13	物流現場力強化のための物流技術	(株)MTI 粟本繁氏
14	物流効率化とこれからの取り組み	(株)日通総合研究所 要藤洋文氏
15	講義のまとめ	流通経済大学 増田悦夫

表7 「情報システム実践講座－秋学期、龍ヶ崎」の2016年度の実施結果

回	テーマ	講師
1	ガイダンス	流通経済大学 増田悦夫
2	ロジスティクスにおける戦略立案のIT活用	(株)日本ビジネスクリエイト 後藤一孝氏
3	Webシステム開発の現状と今後	ヒューマネテック(株) 田中裕樹氏
4	物流効率化とこれからの取り組み	(株)日通総合研究所 要藤洋文氏
5	ロジスティクスと情報システム	(株)フレームワークス/モノプラス(株)/(株)SCSホールディングス 秋葉淳一氏
6	TMSの役割と活用	光英システム(株) 池田勝彦氏
7	物流作業におけるスマートデバイス物流情報機器導入について	日立物流ソフトウェア(株) 小林道明氏
8	「本人認証学」入門	(株)きさいや 宇都宮康夫氏
9	SCMに於ける情報セキュリティの課題	飛天ジャパン(株) 傘義冬氏
10	物流現場力強化のための物流技術	(株)MTI 粟本繁氏
11	パレットにおけるRFIDの利活用	日本パレットレンタル(株) 永井浩一氏
12	ドローンの産業応用の現状と今後	ドローンワークス(株) 今村博宣氏
13	情報システム構築におけるプロジェクトマネジメントの実践	ヒューマネテック(株) 吉山洋一氏
14	講義のまとめ	流通経済大学 増田悦夫

表8 「ダイレクトマーケティング実践講座」の2016年度の実施結果

回	テーマ	講師
1	ガイダンス	流通経済大学 矢野裕児
2	データでみる通販市場	公益社団法人 日本通信販売協会 三浦千宗氏
3	通信販売市場の動向とオムニチャネル化	公益社団法人 日本通信販売協会 柿尾正之氏
4	ダイレクトマーケティングとロジスティクス	流通経済大学 矢野裕児
5	オットー・ジャパンの国内・海外でのフルフィルメントサービスとその事例 －顧客に求められるフルフィルメントサービスとは？－	オットー・ジャパン(株) 勝井武二氏
6	メーカー系通販の展開	ライオン(株) 乗竹史智氏
7	顧客満足作りのポイント －『購入後満足』と『個性化』をいかに具体化するか	(株)カタログハウス 松尾隆久氏
8	スクロールの変遷と今後の展開	(株)スクロール 高山隆司氏
9	インターネット通販の展開	(株)千趣会 中山茂氏
10	高島屋通販事業の歩みと百貨店通販のこれからの展望	(株)高島屋 倉田宏之氏
11	スマホが変えたネットコマースと越境ECの可能性	(有)スタイルビズ 青山直美氏(村山らむね)
12	オムニチャネル戦略	(株)オークローンマーケティング 吉川光秀氏
13	オムニチャネルとラストマイル	流通経済大学 矢野裕児
14	まとめ	流通経済大学 矢野裕児
15	顧客対応からみた通販	公益社団法人 日本通信販売協会 八代修一氏

どに利用されている情報システムやその要素技術などに関わる実務者を講師として招き、具体的事例を通して最近の動向や課題などについて学びます。また、システムやネットワー

ク的设计・開発の手法についても学びます。半期科目であり、春学期は新松戸キャンパスにて、秋学期は龍ヶ崎キャンパスにて開講しました。各回のテーマ、講師は表6、表7の

表9 「ロジスティクス企業訪問講座—秋学期、龍ヶ崎・新松戸」の2016年度の実施結果

回	テーマ	訪問先、講師
1	企業訪問講座ガイダンス-1 ・企業訪問講座の全体像 ・訪問場所のロジスティクスの概要	流通経済大学 矢野裕児、洪京和
2	企業訪問講座ガイダンス-2 ・訪問スケジュール ・訪問時の注意事項	流通経済大学 矢野裕児、洪京和
3	中央卸売市場の見学	東京都中央卸売市場 大田市場—青果、水産
4	鉄道貨物駅の見学	東京貨物ターミナル駅
5	自動車工場の見学	富士重工業(株) 群馬製作所
6	自動車部品メーカーの物流センター見学	日発運輸(株) 太田配送センター
7	小売業の物流センター見学	(株)カスミ 佐倉流通センター
8	フェリーターミナルの見学	オーシャントランス(株) 有明フェリーターミナル
9	東京港の港湾施設の見学	東京都港湾局 新東京丸
10	国際物流総合展の見学	(株)東京ビッグサイト
11	メーカーから物流業務を委託された物流センターの見学	トーフ流通(株) 小絹センター
12	通信販売の物流センターの見学	オットーシャパン(株) 春日部センター

とおりです。新松戸の受講生数は51人、龍ヶ崎の受講生数は16人でした。

⑤「ダイレクトマーケティング実践講座」の2016年度の実施状況

「ダイレクトマーケティング実践講座」は、近年、市場が大きく拡大している通信販売、ネット販売といったダイレクト・マーケティングをテーマに、通販業界の実務家を招き、講義を進めます。ダイレクト・マーケティングの進展は、小売業における店舗型から無店舗型への変化というだけでなく、メーカー、卸、小売のサプライチェーン、さらに物流業に大きな影響をもたらしつつあります。本講座は、このような展開を、広く学んでいきます。半期科目であり、春学期に新松戸キャンパスで開講しました。各回のテーマ、講師は表8のとおりです。受講生数は72人でした。なお、本講座は公益社団法人 日本通信販売協会が後援しています。

⑥「ロジスティクス企業訪問講座」の2016年度の実施状況

企業がロジスティクスをどのように考え、システムを構築しているかについて、企業訪

問を通じて考察します。実際の現場を訪問することによって、学生が実感として理解することを目標としています。2016年度は10箇所を訪問し、現場でロジスティクス担当者が概説し、物流現場を実際に見学しました。半期科目で、企業訪問を実施することから、夏季休暇中の9月に集中講義で、開講しました。各回のテーマ、訪問先は表9のとおりです。龍ヶ崎の受講生数は2人、新松戸の受講生数は20人でした。

⑦「ロジスティクス改善演習」の2016年度の実施状況

「ロジスティクス改善演習」では、物流部門の現場で発生する課題を題材として取り上げ、現状の問題点の整理を行い、各種手法を用いて改善案を検討します。この演習を受講することにより、物流システムに関する理解を深め、分析手法を習得するとともに、分析能力や改善案を提案できる能力を習得することを目標としています。半期科目として、龍ヶ崎キャンパスで実施しました。各回の内容は表10のとおりで、受講生数は28人でした。

表10 「ロジスティクス改善演習－秋学期、龍ヶ崎」の2016年度の実施結果

回	項目	内容
1	ガイダンス	授業のテーマと目標、実施方法、評価基準等を理解する。
2	ミニチュアシミュレータによるラック配置の立案	ミニチュアモデルを用いたシミュレーションを用いて、物流施設内のラック配置を設計する。
3	ミニチュアシミュレータによるラック配置の検討	ミニチュアモデルを用いたシミュレーションを用いて、設計案の改善案を作成する。
4	ミニチュアシミュレータによるラック配置の作成	総搬送距離などを算出し、提案した設計案を評価・分析し、レポートを作成する。
5	RALCモデルによる設計	ミニチュアモデルにより作成した設計案に対応するRALCシミュレーションモデルを作成する。
6	RALCモデルによるシミュレーション	RALC上のシミュレーションにより、総搬送時間などをもとに設計案を評価し、改善案を検討する。
7	ラック配置シミュレーション・レポート	RALCシミュレーションの各モデルについて分析し、レポートを作成する。
8	サプライチェーンゲームの概要	サプライチェーンゲーム(ビルゲーム)の概要を理解し、ゲームの実施方法を習得する。
9	サプライチェーンゲームの実施	サプライチェーンゲームを実施する。
10	サプライチェーンゲームの実施	サプライチェーンゲームを実施する。
11	サプライチェーンゲームの分析	エクセルを用いて、サプライチェーンゲーム結果から費用や各種変動を求め、結果を分析する。
12	サプライチェーンゲーム・レポート	分析結果をもとに、問題点や対策を明らかにし、レポートを作成する。
13	サプライチェーンにおけるCO ₂ 排出量	物流部門におけるCO ₂ 排出量の計算法を学習する。
14	モーダルシフトによるCO ₂ 排出量の解析	事例データを用いて、モーダルシフトによるCO ₂ 排出量の削減量を算出する。
15	モーダルシフトによるCO ₂ 排出量・レポート	モーダルシフトによるCO ₂ 排出量の削減に関するレポートを作成する。

⑧「全国通運連盟寄付講座」の2016年度の実施状況

「全国通運連盟寄付講座」は、鉄道貨物輸送をテーマとして、物流博物館、JR貨物、鉄道利用運送事業者、荷主企業の実務者を招き、鉄道貨物輸送の現状、課題、今後の展望

を広く学びます。半期科目であり、新松戸キャンパスで開講しました。各回のテーマ、講師は表11のとおりです。下記の講義以外に夏休み期間中に、事前講習として東京貨物ターミナル駅の見学を実施しました。受講生数は40人でした。

表11 「全国通運連盟寄付講座－秋学期、新松戸」の2016年度の実施結果

回	テーマ	講師
1	ガイダンス	流通経済大学 林克彦
2	物流の歴史(1)	物流博物館 玉井幹司氏
3	物流の歴史(2)	物流博物館 玉井幹司氏
4	物流事業及び鉄道利用運送事業の概要について(1)	日本通運(株) 中野泉氏
5	物流事業及び鉄道利用運送事業の概要について(2)	SBSロジコム(株) 青柳大氏
6	物流事業及び鉄道利用運送事業の概要について(3)	(株)丸運 岡本将一氏
7	物流事業及び鉄道利用運送事業の概要について(4)	センコー(株) 堀江麻里氏
8	JR貨物に関する知識(1)	日本貨物鉄道(株) 後藤秀之氏
9	物流事業及び鉄道利用運送事業の概要について(5)	熊谷通運(株) 田島崇晴氏
10	物流事業及び鉄道利用運送事業の概要について(6)	芳賀通運(株) 塚本貴士氏
11	JR貨物に関する知識(2)	日本貨物鉄道(株) 入江宏紀氏
12	荷主企業における物流と鉄道コンテナ輸送(1)	霧島酒造(株) 津曲雄氏
13	荷主企業における物流と鉄道コンテナ輸送(2)	(株)ブルボン 稲田浩氏
14	日本経済と鉄道貨物輸送ネットワークのあり方について	流通経済大学 林克彦
15	講義のまとめ	流通経済大学 林克彦